

◎新規就農者育成のための研修事業（長期研修：0名、短期研修：3名）

目的：地域社会の新たな担い手となる新規就農者の確保・育成をして、若者の定住促進による山間地域の農村社会の健全な発展に寄与すること。

財源：市からの新規就農研修委託料を充当する。

※生産現場での栽培研修、振興センター・JA指導員・講師による研修等、以下研修内容を予定。

（１）栽培技術の習得

○研修修了後の就農に向けた簡易雨除け米ナス栽培、新規作物等試作品目で総合的な現場での研修

（２）就農支援

○篤農家研修（JA米ナス部会現地検討会での栽培研修）

○農業機械研修 公社圃場でのトラクター操作・管理機・草刈り機操作

○巡回指導 振興センター・JA巡回指導

○意見交換会 その日の反省と翌日の研修検討会（次週の研修予定）

（３）就農支援（就農支援チームによる）

○就農計画の作成

○資金利用計画

○営農計画の作成

○事業導入計画

◎新規作物等試作支援事業（事業収入：16,213,710円）※収支は別添資料による。

目的：有望品目の試作等を行い、普及可能な品目が見つかれば、育苗を行い農家に供給することにより農家のリスク低減を図るとともに、有望品目の安定生産と所得の拡大に繋げること。

財源：試験栽培品目の売上代金と市からの実験農場等委託料を充当する。

（１）雨除けハウスにおける米ナス実証栽培

○遮熱・遮光資材による高温対策等の実証試験研究

○鶏糞の活用による低コスト栽培の実証

（２）トマトの栽培技術向上と高温対策の実証

○ポット栽培による労力・コスト低減実証

○変温管理等の環境制御技術による、生産コスト低減と収量増大

（３）橘地区栗実証農園管理

○平場での肥培管理や樹園管理技術の実証（乗用草刈機の活用）

（振興センター、JAとの連携による）

（４）ナバナセル苗の適作品種試験と、野菜苗移植機による作業受託の推進

○ナバナセル苗における生産量・品質向上のための適作品種の検証

(5) 四万十春蕾の栽培技術向上と普及推進（冬期換金作物）

○公社育苗ハウスにて育苗を行い新規生産者への供給、技術指導

(6) その他の取り組み

○ナバナ・四万十春蕾・茎ブロッコリーのセル苗供給

○大粒落花生（道の駅の品揃栽培）

◎水稲育苗事業（事業収入：14,619,670 円）※収支は別添資料による。

目的：農業従事者の高齢化が進む中、大きな負担となっている育苗作業を軽減する。また、早生苗については硬化苗（田植が即できる状態）まで育苗することで冬作へ向けた水田二毛作（ナバナ・四万十春蕾等）の推進を図る。さらに、安定的に供給することで地域の水田の保全と安定生産に繋げること。
財源：農家への水稲苗代金売上を充当する。

令和 7 年度水稲育苗箱数

〔単位：箱数〕

	コシヒカリ		ヒノヒカリ	ニコマル	サイワイモチ	酒米	その他	苗渡し別合計		総数量
	緑化苗	硬化苗	緑化苗	緑化苗	緑化苗	緑化苗	硬化苗	緑化苗	硬化苗	
R7年度	71	3,775	13,529	342	351	765	810	15,868	3,775	19,643
R6年度	42	3,621	13,416	350	384	744	622	14,936	4,243	19,179

※中生には、若干の半硬化苗が入っています。〔前年対比：102.4%〕

○資産取得 ハイスイートポンプ 1 基 （水稲苗灌水用ポンプ）

取得金額：704,000 円

○その他

- ・道の駅よって西土佐との連携により、野菜品目拡大と地域産品の宣伝販売活動
- ・スクールミール等への食材供給による食育活動（トマト,米ナス,四万十春蕾など）